（平成 30 年 4 月試験研究業務月報）
試験研究課題：（緑化普及啓発）

情　報

緑化センターの一般開放（桜花祭）と桜並木の改良作業

緑化センターの桜並木(ヤエベニシダレザクラ)は、毎年春に多くの花が咲き誇り、近隣だけでなく、遠方からも花見客が訪れる名所となっています。

しかし、植栽された 25 本のサクラは成長に伴って過密になり、少しずつ枝が枯れ上がり、花数が減少してきたため、本年１月、２月に、樹勢を回復させる目的で、11 本を抜き伐り残りの木は強度の剪定を行いました。

そのため、今年は花が少なくなりましたが、地元関係者で組織する桜花祭実行委員会が行ったライトアップ（4 月 1 日～15 日）としだれ桜の夕べ（4 月 7 日,8 日）の催しは、にぎわいを見せていました。また、同時に約 60 品種、120 本のサクラの魅力を紹介し、訪れた来場者は、様々なサクラを楽しんでいました。数年後には元気を取り戻したサクラのより美しい姿を見ていただける予定です。

改良作業を行った桜並木（ヤエベニシダレザクラ）

築山のシダレザクラ（ライトアップ）

桜の下での福知山踊り

様々な桜を楽しむ人たち（イズヨシノ）

農林センター（森林技術センター）